地震発生！そのときどうする？

緊急地震速報を見聞きしたり、地震の揺れを感じたりしたとき、あわててむやみに行動するとかえって危険です。テレビ・ラジオ等で正しい情報を入手し、冷静に状況を判断して的確な行動をしましょう。

●家庭では

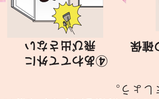
①まず身の安全を

②揺れがおさまったら すぼけ〜ス火の始末

③戸を開けて出口の確保

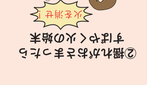
④あわてて外に飛び出さない

●学校や勤め先にいるときは



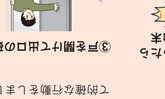
原则として先生の下で立ち身を屈し（しゃ）、安全では避難をし、勤め先では指示に従って行動します。

●人が大勢いる施設では



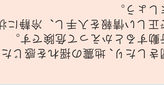
一時停電することがあります。慌てて出口に走り出さずに、保育の指示に従って落ついて行動します。

●鉄道・バス乗車中は

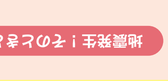


つり革や手すりにしっかりつまりましょう。運転や車掌の指示に従って行動します。

⑤この近所で助け合い



⑥避難は徒歩で



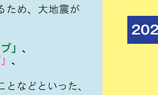
●エレベーターは

ただちに各階のボタンをすべて押し、どこでも止められるように最寄り階に止まります。停電などで閉じこめられた場合は、非常ボタンを押して助けを求めます。

●急傾斜地や丘陵の宅地造成地では

落石や崩れに注意し、すぐにがけから離れます。

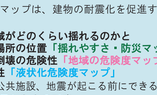
●屋外（街）では



●自動車運転中は

急ブレーキはかけず、緩やかに安全な場所に寄せて道路の左側に停止します。ラジオなどの災害情報を聞き、避難する原因・ドアロックをします。キーは車内に残したままにします。

●ハシゴを頭にしてはダメ



避難所にペット用持参品を忘れないでください。

●ハシゴを頭にしてはダメ

避難所にはペットを同伴避難できます。

ペット用防災用品を忘れないでください。

※犬の場合、狂犬病予防注射をしていないと、避難所で受け入れられない場合があります。

【地震発生！そのときどうする？】

地域の危険度マップ

この地域の危険度マップは、学校町と自治会の皆様方にご協力をお願いの上、地域の中で、過去に地震による被害を受けた箇所（地域内の全て の建物の被害の割合）を調査し、取りまとめたものです。

揺れやすさマップに示した揺れの大きさごとに全国の全建物を集計（地域内の全ての建物の割合）を計算し、災害対策本部の設置基準（震度5強以上）を基準に、1回の地震で建物の被害が多い地域と、揺れが大きいほど倒壊率が高くなる傾向にあります。

地域の危険度マップは、地震による個々の建物の被害率を基準に、地域の危険度を表示したものです。

地域の危険度マップについて

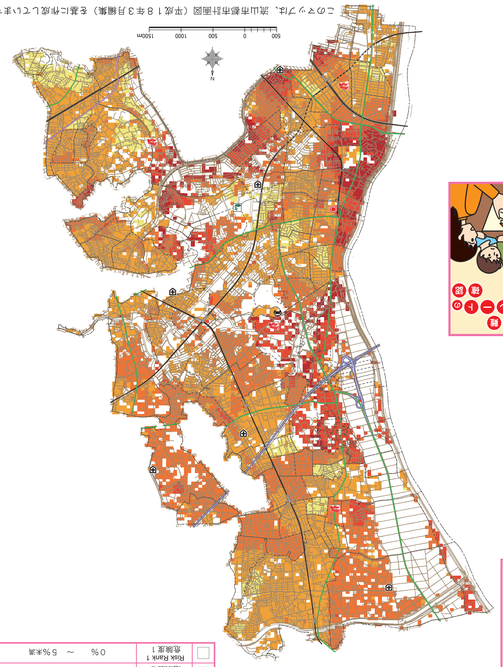
地域による建物被害率は、主に揺れの強さと建物の構造・築年数に関係しています。

建物の被害率は、地域の揺れの強さと建物の構造・築年数の関係を表示したものです。

建物の被害とは？

地震による建物被害は、主に揺れによる建物の崩壊に基づくものと、揺れにより建物の柱や梁などが破壊され、全壊、半壊、一部損壊という形で表示されます。全壊は建物の被害の定義は、「災害対策本部の設置基準」の中で国により定められています。

全壊	建物全体が崩れた状態 全体または一部の崩れの割合が50%以上
半壊	建物の崩れの割合が20%以上50%未満
一部損壊	建物の崩れの割合が20%未満
崩壊率	崩れた割合



この マップは、流山市都市計画図（平成１８年３月編集）を基に作成しています。

【地震の危険度マップ】

液状化危険度マップ

液状化危険度マップについて

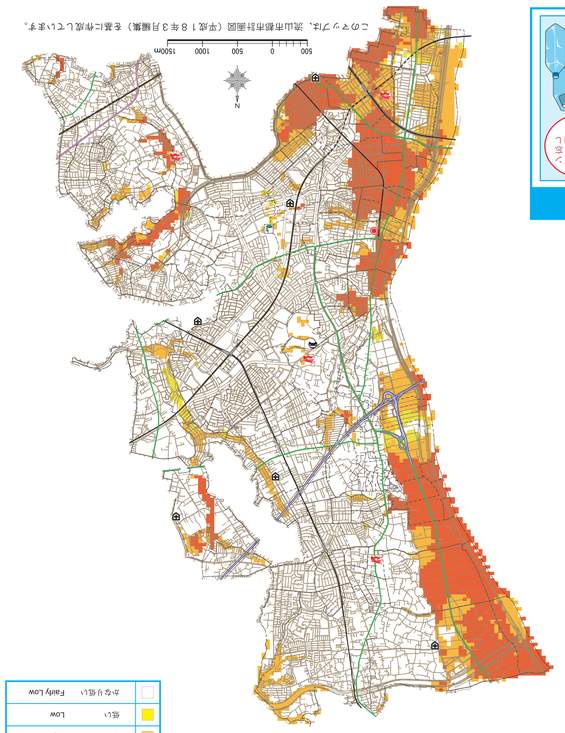
この**液状化危険度マップ**は、地震発生時、地盤が揺れることにより地盤が液状化し、地下水位が高く、砂を含むところで、噴砂・噴水現象が発生する可能性を、地盤の地形・地質・地下水位などを考慮して、地理院の土地条件図に基づく地形分類により評価したものです。

液状化現象

液状化が起こると、地盤が沈むなどして、地盤が重い建物等を支えることができなくなり、地盤の中の軽い管路や地下タンク等は浮き上がったりします。この他、河川の護岸近傍や緩い傾斜地において、場合によっては数メートルにわたって地盤が流動することもあります。

液状化被害への備え

東日本大震災における東京湾岸地域のように、日常生活に深く関わっているライフライン（電気、ガス、水道）や道路等液状化による被害を受けることがなくなります。ライフラインの被害の低い地域にあっても、ライフラインの被害は、広域的に影響が及ぶことも考えられますので、備蓄品および弁当等持ち出し品の中に、ライフラインの代替品も忘れず準備しておきましょう。



この マップは、流山市都市計画図（平成１８年３月編集）を基に作成しています。

【液状化危険度マップ】

凡例 Legend

Rank of District Risk 地域の危険度ランク	Ratio of Buildings with Heavy Damage 地域内の建物の中で全壊率の建物の割合
Rank Rank 6 危険度６	25%以上 ～
Rank Rank 5 危険度５	20%以上～25%未満
Rank Rank 4 危険度４	15%以上～20%未満
Rank Rank 3 危険度３	10%以上～15%未満
Rank Rank 2 危険度２	5%以上～10%未満
Rank Rank 1 危険度１	0% ～ 5%未満

凡例 Legend

Rank of Liquefaction Risk 液状化危険度ランク	
最も高い	Quite high
高い	High
低い	Low
かなり低い	Fairly Low

【液状化危険度マップ】

2025年版

保存版

流山市 地震ハザードマップ

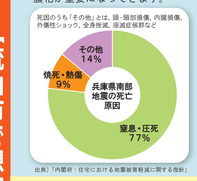
～ 災害から命を守る、日ごろの備えと地域のきずな ～

この地震ハザードマップにより、ご自宅及び地域の状況を確認していただき、建物の耐震改修や家具の転倒防止、避難所・避難ルートの確認など、日ごろからの備えに役立ててください。

流山市

【流山市で想定される地震】

兵庫県南部地震による犠牲者の多くが、倒壊した住宅に押しつぶされてなくなる「圧死」でした。このような被害を減らすためには、住宅等の耐震化が重要になってきます。



出典）「内閣府：住宅における地震被害軽減に関する指針」

※流山市地震ハザードマップで示している3つのマップは、50メートルのメッシュ単位で表したものです。

【平成１６年 新潟県中越地震】

流山市地震ハザードマップは、建物の耐震化を促進するため、大地震が発生したとき

■お住まいの地域がどのくらい揺れるのかと避難所・避難場所の位置「揺れやすさ・防災マップ」、

■地域での建物倒壊の危険性「地域の危険度マップ」、

■液状化の危険性「液状化危険度マップ」

について、避難場所や公共施設、地震が起こる前にできることなどといった、身近な防災情報と共に示したものです。

このマップの利用方法

この地震ハザードマップを参考にして、以下の項目を確認してみましょう。

- □ 自宅やよく行く施設、場所、よく通るところの危険度の確認
- □ 避難する場所や避難ルートの確認
- □ 家具の転倒防止や備蓄品および非常時持ち出し品
- □ 自宅の耐震診断（簡易耐震診断）や耐震改修
- □ 地域の自主防災組織の活動

流山市で想定される地震

発生のしくみと地震のタイプ

地震は、地下の岩盤に力が加わり、ある面（断層面）を境にして両側の岩盤がずれ動く断層運動により発生します。プレートの沈み込みにより、岩盤は次第に変形し、ひずみという形でエネルギーが蓄積されますが、ひずみが限界に達すると岩盤の破壊（地震）が起こり、蓄えられていたエネルギーが地震波となって放出されます。この地震波が地中を伝わり、地面を揺らすことになります。

日本周辺で発生する地震は、活断層の活動による**「活断層地震」**とプレートの沈み込みによる**「海溝型地震」**に大別することができます。

■ 活断層地震

陸域で主に活断層が動いて起こる地震です。規模は小さいものの、震源からの距離が近いために大きな被害が発生することが多くあります。

「平成７年 兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）（マグニチュード７.３）」、

「平成１６年 新潟県中越地震（マグニチュード６.８）」

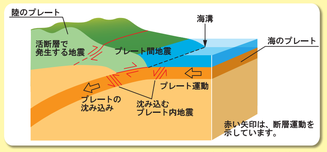
「令和６年 能登半島地震（マグニチュード７.６）」など

■ 海溝型地震

プレートの沈み込みにより起こる地震で、これには「プレート間地震」と「プレート内地震」があります。規模が大きく、また大規模な津波による被害も発生することがあります。

プレート内地震：「平成６年 北海道東方沖地震（マグニチュード８.２）」など

プレート間地震：「平成２３年 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）（マグニチュード９.０）」など



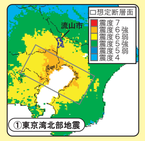
文部科学省「地震がわかる！、防災担当者参考用資料」を基に作成

想定した地震

この地震ハザードマップの作成にあたっては、国や千葉県の調査結果を参考として、流山市への影響が大きいと想定される、下記の３つの地震を想定しました。

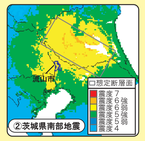
①東京湾北部地震（海溝型地震、マグニチュード７.３）

ある程度の切迫性が高いと考えられ、首都直下地震対策を検討していく上で中心となっている地震です。内閣府中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」によれば、マグニチュード７クラスの直下地震については発生する可能性があるとされています。



②茨城県南部地震（海溝型地震、マグニチュード７.３）

内閣府中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」により、マグニチュード７.３の地震として評価されています。フィリピン海プレートと北米プレートとの境界で発生する地震です。



③流山市直下の地震（未知の断層地震、マグニチュード７.３）

流山市周辺に大きな活断層はありませんが、現在知られている活断層以外にも地震を発生させる断層が存在すると言われています。こうした地震は、例えば平成２０年６月１４日に発生した岩手・宮城内陸地震のように、いつどこで起こるか分からないため、防災上の観点から、流山市の直下にマグニチュード７.３の地震を想定しました。

【流山市で想定される地震】

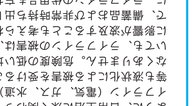
ふだんからの地震への備え

地震に強い家・弱い家

耐力壁が不足したり片寄っている家

耐力壁（筋かいが入った壁等）が少なかったり片寄っている建物は大きな被害を受ける可能性があります。

瓦の重い屋根の家

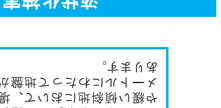


屋根をあまり重くすると大きな被害を受ける可能性があります。

上下階のバランスが悪い家

一階部分が車庫・ピロティーになっていたりすると、建物バランスが悪く大きな被害を受ける可能性があります。

老朽化している家



建物が老朽化していたりシロアリ被害を受けていると、材料の強度が低下し大きな被害を受ける可能性があります。

基礎に不備がある家

建物基礎が弱い場合、大きな被害を受ける可能性があります。

その他に

- ●地盤が悪いところに建つ建物は、大きな被害を受けるおそれがあります。
- ●がけの付近あるいは斜面に建築されている場合は、地面が崩れて、建物が被害を受けるおそれがあります。

地震がおこる前にできること

●屋内のチェック

- ●寝室にはできるだけ家具を置かない！出入口は避難できるスペースを確保！枕元には履き物と懐中電灯を！
- ●戸棚の扉にはロック機能のついたものを！
- ●テレビは金具・チェーンなどで固定！
- ●カーテンは防火処理を施した厚手のものに！
- ●テレビは高いところに置かないようにと！
- ●玄関や廊下には家具や荷物を置かない！
- ●ピアノの対策方法は、専門知識のあるメーカーに問い合わせましょう。
- ●L字金具で壁に固定！重いものほど下に入れる！
- ●転倒防止器具で固定！上に置いるのや危険なもの（ガラスケース等）を置かない！
- ●大きな家具は人の出入りの少ない部屋にまとめるように！
- ●冷蔵庫などは転倒防止器具で固定！
- ●懐中電灯などは、手の届くところに！非常時持ち出し品や備蓄品の用意を！
- ●吊り下げ式の照明器具はチェーンなどで止める！
- ●ガラス戸や窓には飛散防止フィルムを！食器には滑り止めを！

●屋外のチェック

- ●倒れやすいブロック塀や門柱等は補強！生け垣に変更するのも有効です
- ●プロパンガスのボンベは、鎖でしっかり（二重）に固定！
- ●不安定なアンテナや屋根瓦のゆるみは修理！
- ●ベランダの植木鉢や物干し等の整理整頓！

耐震診断してみましょう

住まいの耐震性がどの程度か調査するのが耐震診断です。建物の状況等を調査し、耐震補強・改修工事の必要があるかを診断します。

木造住宅については、簡易耐震診断を手軽に自分でできる**「誰でもできるわが家の耐震診断」**が一般財団法人日本建築防災協会から提供されています。10の質問にしたがって、わずかな時間で住まいの耐震性が診断でき、住まいのどの部分が地震に対して弱いのかを知ることができます。

リーフレットが必要な方は、下記窓口または一般財団法人日本建築防災協会ホームページから入手できます。

（http://www.kenchiku-bosai.or.jp/taishin_portal/daredemo_sp/）

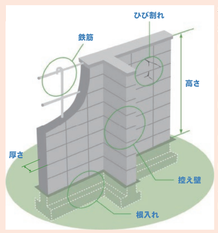
なお、流山市では、耐震助成事業により次の補助を実施していますので、ご活用ください。

- **・平成12年以前の在来軸組構法の木造住宅及び昭和56年以前のマンションの耐震診断費用の一部**
- **・平成12年以降の在来軸組構法の木造住宅の耐震改修費用の一部（いずれもこれから実施されるものに限ります。）**

詳しくは、担当窓口までお問い合わせください。

●お問い合わせ先
流山市役所　建築住宅課
電話番号　０４－７１５０－６０８８

ブロック塀の点検のチェックポイント



出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会　2013. 1 より一部改

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改修しましょう。
まず外観で１～５をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- □ 1. 塀は高すぎないか
  - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- □ 2. 塀の厚さは十分か
  - ・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）
- □ 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）
  - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- □ 4. 基礎があるか
  - ・コンクリートの基礎があるか。
- □ 5. 塀は健全か
  - ・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- □ 6. 塀に鉄筋は入っているか
  - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
  - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

【ふだんからの地震への備え】

災害の「備え」チェックリスト

準備が出来たら ☑ チェックを入れよう！

非常時持ち出し品 非常の際に持ち出すもの！

- □ 水
- □ 食品（三角フラワ缶なら、ふたは缶ごとパカ、ちょこ、ちょこ、缶詰の缶切り）
- □ 防災用ヘルメット・防災ずきん
- □ 衣類・下着
- □ レインウェア
- □ 上履き
- □ 携帯電話スマートフォン携帯充電器
- □ 懐中電灯（手動充電式が便利）
- □ 携帯ラジオ（手動充電式が便利）
- □ 予備電池
- □ 大きめのタオル
- □ 常用薬
- □ 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、体温計、ピンセット、はさみ、ライター、マッチ、ロウソク）
- □ 使い捨てカイロ
- □ 軍手
- □ 洗面用具
- □ 歯ブラシ・歯磨き粉
- □ タオル
- □ ペン・ノート
- □ 貴重品（通帳、印鑑、運転免許証、保険証、現金、マイナンバーカード）
- □ 携帯トイレ

感染症対策

- □ マスク
- □ 手指消毒用アルコール
- □ 石けん・ハンドソープ
- □ ウエットティッシュ
- □ 体温計

子どもがいる家庭の備え

- □ 液体ミルクなど
- □ 子供用紙おむつ
- □ 抱っこひも
- □ おむつ用ごみ袋
- □ 離乳食
- □ お尻ふき
- □ 子供の靴

女性の備え

- □ 生理用品
- □ サニタリーショーツ
- □ 防犯ブザー・ホイッスル
- □ おりものシート
- □ 中身の見えないゴミ袋
- □ 基礎化粧品

高齢者がいる家庭の備え

- □ 大人用紙パンツ
- □ 入れ歯・入れ歯用洗浄剤
- □ デリケートゾーンの洗浄剤
- □ 杖
- □ 老眼鏡
- □ 持病の薬

ペットがいる家庭の備え（※ペット同行避難の備え）

- □ キャリーバッグ・ケージ
- □ ペットフード
- □ 薬
- □ 予備の首輪・リード
- □ トイレ用品

備蓄品 必要に備えておくもの

- □ 食料や水（最低3日分できれば1週間分）×家族分　保存期間の長いものを多めに買っておき、消費したら補充するという習慣にしていけば、無に備えの備蓄が可能！
- □ 生活用品 例えば、ティッシュ、トイレットペーパー、ラップ、ゴミ袋、ポリタンク、携帯トイレ…など

ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう

情報伝達方法

市公式 LINE（ライン）アカウント

災害情報や感染情報などの情報を受け取ることができます。
受信設定から「災害・火災・インフラ」のカテゴリを登録して下さい。

防災アプリ「Yahoo! 防災速報」

ヤフー株式会社が提供するスマートフォンのアプリ版で、土砂災害等のハザードマップが閲覧できるほか、防災気象情報や緊急地震速報、避難所開設情報などをプッシュ通知でお知らせします。

ios　Android

防災行政無線テレホンサービス

（通話料無料）　0120-78-3170 ナガレヤマサイナンゼロ

流山市では、災害情報などの重要な情報を市民のみなさんにお伝えするために、市内に 79 局の屋外スピーカーを設置し、防災行政無線による放送を行っています。最近では、住宅の高気密化や建物の反響などの理由から、放送内容が聞きづらい場合があります。そのような場合に防災行政無線で放送された内容を電話で確認できるサービスです。

緊急速報メール

気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を特定エリアの携帯電話に一斉にお知らせするサービスです。

テレビ（L アラート）

NHK、千葉テレビ、J:COM 東葛・葛飾等のデータ放送で災害・避難情報をお知らせします。
※L アラート（災害情報伝達システム）：災害発生時に、自治体が作成・ライフライン事業者等が、テレビ、インターネット等広域情報メディアを通じて地域住民に向けて、必要な情報を迅速かつ効率的に伝達するための通信網。

その他　ご活用ください

◎https://X.com/nag_anshinanzen（市公式 X）
◎https://www.city.nagareyama.chiba.jp/（市公式 HP）

マップに関するお問い合わせ先
流山市役所　防災危機管理課　電話番号　０４－７１５０－６３１２
建築住宅課　電話番号　０４－７１５０－６０８８
発行:令和7年3月

FSC® C144252